|  |
| --- |
| 第９章　大阪の労働情勢 |
| 大阪府の雇用情勢は、2020年より前は改善傾向にありました。しかし、2020年は新型コロナウイルスの影響により、有効求人倍率が低下し、完全失業率も上昇するなど、雇用情勢は悪化に転じました。第９章では、大阪の労働情勢を把握するために、労働力人口、正規雇用率、完全失業率、有効求人倍率等について取り上げます。 |

教えて！Q＆A

|  |
| --- |
|  大阪府民の就業者や完全失業者は、増えているの？減っているの？増減しているのは、何が原因なの？ |

 2020年の15歳以上の大阪府民は777万人で、うち就業者は461万人、就業率は59.3％です。一方、完全失業者は16万人、完全失業率は3.4％と推計されています（９-３参照）。

近年においては、リーマンショック後の2010年を底に、大阪府の就業者が増加傾向にある一方で、完全失業者数は減少傾向にありました。

その要因としては、景気回復に伴い労働需要が高まったこと、女性や高齢者の労働市場への参入が増加し労働供給が増えたことが挙げられます。

ただし、2020年は新型コロナウイルスの影響で、求人が減少したことから就業者数の増加が頭打ちとなる一方で、完全失業者数が微増となりました。

|  |
| --- |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| ９－１ | 全国・大阪府内の年齢別労働力人口の推移 |

特徴

* 2015年の大阪府の労働力人口は398万8，749人と、男女とも10年前から減少傾向にあります。
* 女性の労働力率がＭ字カーブを描くのは、欧米と比較した場合の日本の特徴です。



大阪の労働情勢

|  |  |
| --- | --- |
| ９－２特徴 | 大阪府内地域別の年齢別労働力人口【2015年】 |



大阪の労働情勢

* 2015年の15歳以上人口に占める労働力人口の割合（労働力率）は、大阪府全体で男性が69.7％、女性が48.3％でした。
* 大阪府内各地域の労働力人口の割合は、男女とも大阪市域だけが府内全体を上回っており、年齢別でも20歳台前半の割合が高くなっています。

|  |  |
| --- | --- |
| ９－３ | 全国・大阪府内の就業状態別１５歳以上人口の推移 |

特徴



大阪の労働情勢

・ 2021年の大阪府の就業率は59.2％で、全国を下回る水準で推移しています。

* 大阪府の2021年の完全失業率は、前年からほぼ横ばいの3.5％でした。

|  |  |
| --- | --- |
| ９－４ | 全国・大阪府内の従業上の地位・雇用形態別有業者数【2017年】 |

特徴



大阪の労働情勢

・ 2017年の大阪府の有業者の内、男女合わせた正規職員・従業員の割合は51.1％でした。

* 全国と比べ、パートやアルバイトの割合が高くなっています。

|  |  |
| --- | --- |
| ９－５ | 大阪府内地域別の職業大分類別就業者数【2015年】 |

特徴



大阪の労働情勢

・ 大阪府内では事務従事者が約２割を占め、就業者の中で最も多い職業です。

* 北大阪地域は、他の地域と比べ、事務従事者、専門的・技術的職業従事者、販売従事者の割合が高くなっています。

|  |  |
| --- | --- |
| ９－６ | 全国・大阪府内の男女別正規雇用率の推移 |

特徴

・ 大阪府内の2017年の正規雇用率は、男性が75.9％、女性が41.6％でした。

* 女性の正規雇用率は全国、大阪府とも、男性は大阪府で下げ止まる傾向がみられます。



大阪の労働情勢

|  |  |
| --- | --- |
| ９－７ | 大阪府内大学・短期大学卒業生に占める就職者の割合の推移 |



大阪の労働情勢

・ 2021年の府内大学の卒業者が就職した割合は、女性が82.6％、男性が75.6％でした。

* 同年の短期大学の就職割合は、女性が76.9％、男性が33.1％でした。

特徴

|  |  |
| --- | --- |
| ９－８ | 全国・主要都府県の完全失業率の推移 |

特徴

* 大阪府の完全失業率は、2021年も2020年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により3.5％と高い水準で推移しています。



大阪の労働情勢

|  |  |
| --- | --- |
| ９－９大阪の労働情勢 | 全国・大阪府内の年齢別完全失業率の推移 |

特徴



・ 大阪府の2021年の完全失業率は男性が3.6％、女性が3.4％でした。全国に比べ女性は年齢を問わず、また男性は25歳以上で全国を上回る水準にありました。

大阪の労働情勢

|  |  |
| --- | --- |
| ９－10 | 全国・主要都府県の有効求人倍率の推移【就業地別集計】 |

特徴



大阪の労働情勢

* 大阪府の有効求人倍率は、2015年に1.0倍を超え、2018年には1.5倍を超えましたが、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で0.9倍に下がりました。

|  |  |
| --- | --- |
| ９－11 | 大阪府内の年齢別有効求人倍率の推移【受理地別集計】 |

特徴



大阪の労働情勢

・ 2016年以降、全年齢層で有効求人倍率は1.0倍を超えていました。

* 2021年は新型コロナウイルスの影響によって45歳以上で1.0倍を下回りました。

|  |  |
| --- | --- |
| ９－12特徴 | 全国・主要都府県の現金給与総額の推移 |



大阪の労働情勢

* 2020年は、大阪府だけでなく全国、主要都府県で、前年に比べ現金給与総額が減少しました。時間外等の諸手当、賞与が減少したためです。

|  |  |
| --- | --- |
| ９－13 | 大阪府内の産業別男女別所定内給与額【2021年】 |

特徴



大阪の労働情勢

・ 2021年の産業全体での所定内給与額は、男性が357.6千円、女性が268.7千円でした。

* 年齢や勤続年数にばらつきはありますが、全業種で男性が女性に比べ所定内給与額が多い傾向がみられます。

|  |  |
| --- | --- |
| ９－14特徴 | 大阪府内の年間総実労働時間の推移 |

・ 大阪府内の総実労働時間、所定内労働時間とも、全国と同様に年々減少しています。

* 大阪府内の総実労働時間、所定内労働時間とも、全国を下回っています。



大阪の労働情勢